

平成24年度(3)年生(技術家庭)科シラバス

教科の目標

実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。生活者としての自覚をもち、日常生活の中から課題を見いだし、解決を目指す活動を通して学習を深める。

月	単元・項目	つけてほしい力	学習のアドバイス	評価方法
4	わたしたちの消費生活と環境	1. 消費生活について考えよう	商品を適切に選択する力をつけよう いろいろな販売方法の利点や問題点をまとめよう さまざまな支払い方法の特徴を理解しよう	定期テスト 提出物 ・ワークシート ・授業ノート ・学習ノート 忘れ物 作品 授業態度
		2. 消費者としての自覚をもとう	消費者の権利と責任について理解しよう 消費者にかかわる法律やしくみを理解しよう	
5		3. 生活の中で環境への影響を考えよう	自分の消費生活を振り返り問題点を考えよう 環境に配慮した消費生活の工夫をしよう	
		1. 環境や資源を考えて生活しよう	環境や資源に配慮した生活のための自分の課題をみつけよう	
6		2. 地域の人々とふれあおう	地域の人々に関心をもち、だれもが暮らしやすい地域づくりに対する課題を考えよう	
7		1. 幼い頃を振り返ろう	自分の幼児期を思い出し、振り返る。	
9	私たちの成長と家族・地域	2. 幼児の心身の発達と生活を考えよう	幼児の個性や体の特徴について考える。 幼児の心の発達について理解する。 幼児の基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の習得について理解する。	
		3. 幼児の生活と遊びを知ろう	幼児にとっての遊びの大切さを理解する。 遊びの役割や種類、環境との関係などを考える。	
10		4. 子どもにとっての家族を考えよう	幼児と主に関わる家族の役割を考える。	
11		5. 中学生にとっての家族を考えよう	家庭や家族の基本的なはたらきについて考えることができる。	
		6. 家族と地域のかかわりを考えよう	家族以外の地域にある社会施設や地域に目をむけ、自分たちがどう幼児と接していけばよいか考える。	
12		おもちゃをつくってみよう	幼児の発達段階にあったおもちゃを製作する。 おもちゃの製作をとおして幼児について理解を深めることができる。	
1		幼児と触れ合おう	保育実習では幼児の心身の発達を考えた遊びやかかわりを工夫して、幼児と直接かかわることができる。	
2	保育実習(真亀幼稚園)	ふれあい活動をとおして幼児を理解する。	色を使ったり、平仮名のみを使って、幼児が読みやすい絵本を作ろう。 幼児とのふれあいは意欲的に取り組もう。	
3				

